



開催趣旨

近年、気候変動に起因すると思われる「予想を超える自然現象による災害」が世界各地で多発しています。本講演会では、この近年の自然災害の状況を報告し、それらが提起した課題を明らかにするとともに、自然災害の軽減に向けた適応策等について幅広い視点から議論していきます。

プログラム

Program

- 13:00 開場(受付)
- 13:30-13:35 開会・挨拶
愛媛大学防災情報研究センター センター長 矢田部龍一
公益社団法人 日本河川協会 専務理事 望月常好
- 13:35-14:05 オーストラリアの災害報告
国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部
水資源研究室 主任研究官 板垣修
2010年12月から2011年1月にかけてオーストラリアのクイーンズランド州で発生した豪雨災害について、国土交通省等による調査団の一員として現地調査した結果を踏まえ、特徴的な氾濫および被害形態を中心に紹介する。
- 14:05-14:35 ベトナムに適用可能な日本の水管理技術について —2010年ベトナム中部頻発洪水—
社団法人 土木学会 ベトナム中部頻発洪水調査団 団長 鳥居謙一
(当時 愛媛大学防災情報研究センター教授)
ベトナム中部では、2010年10月に2波の洪水に見舞われ、大規模な被害が発生した。本講演では、土木学会が現地調査を実施し、ベトナム政府に適用可能な日本の河川技術という観点から報告した内容について紹介する。
- 14:35-14:55 ネパールの自然災害と防災教育の展開
愛媛大学防災情報研究センター センター長 矢田部龍一
ヒマラヤに抱かれたネパールは、水・土砂災害のメッカである。また、近い将来、巨大地震が発生する。本講演では、ネパールの水・土砂災害の概要と予想される地震災害、ならびにソフト対策としての防災教育の展開について述べる。
- 14:55-15:05 (休憩)
- 15:05-16:05 世界の大規模洪水を監視・予測する先端技術 —2011年タイ洪水を事例に—
独立行政法人 土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター 研究員 佐山敬洋
2011年タイ洪水を事例に、世界の大規模洪水をリモートセンシングやシミュレーション技術を駆使して監視・予測する先端技術について話題を提供する。また、現地調査や解析結果をもとに、同災害の形態的な特徴と今後の対策について考察する。
- 16:05-16:35 会場との意見交換
コーディネーター/愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 板屋英治
- 16:35 閉会

主催 愛媛大学防災情報研究センター
公益社団法人 日本河川協会

後援 国土交通省四国地方整備局
徳島県 香川県 愛媛県 高知県
社団法人 建設コンサルタント協会四国支部

※当講演会は土木学会CPDプログラムとして認定されています。



共催 社団法人 四国建設弘済会
財団法人 河川情報センター
えひめ川の会

開催日 平成24年3月9日(金)
13:30~16:35(開場13:00)

会場 愛媛大学 南加記念ホール

定員 170名(申し込み先着順)
(裏面に申込書・会場案内)

参加費無料

アジア太平洋地域の災害を語る

講演者プロフィール

オーストラリアの災害報告

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部

水資源研究室 主任研究官 板垣 修

早稲田大学大学院修士課程修了後、建設省(当時)に入省。2007年から2010年までJICA専門家としてシリア・アラブ共和国へ。2010年より現職。

ベトナムに適用可能な日本の水管理技術について —2010年ベトナム中部頻発洪水—

社団法人 土木学会 ベトナム中部頻発洪水調査団

団長 鳥居謙一 (当時 愛媛大学防災情報研究センター教授)

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程を修了後、建設省(当時)に入省。月山ダム工事事務所長、海岸研究室長、大洲河川国道事務所長、愛媛大学防災情報研究センター長・教授などを歴任。現在、国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部水資源研究室長。愛媛大学客員教授。博士(工学)。

ネパールの自然災害と防災教育の展開

愛媛大学防災情報研究センター

センター長 矢田部龍一

京都大学大学院工学研究科修了。愛媛大学工学部助手、助教授、教授を経て現在、愛媛大学理事・副学長、国際連携推進機構長を務める傍ら、2011年7月より防災情報研究センター長兼任。工学博士。専門は地盤防災工学。

世界の大規模洪水を監視・予測する先端技術

—2011年タイ洪水を事例に—

独立行政法人 土木研究所

水災害・リスクマネジメント国際センター 研究員 佐山敬洋

京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。京都大学防災研究所助教、オレゴン州立大学客員研究員を経て2009年10月より現職。博士(工学、京都大学)。政策研究大学院大学連携准教授。専門は水文学・洪水災害。

会場のご案内

愛媛大学 南加記念ホール

愛媛県松山市文京町3 TEL: 089-927-8142

松山空港から JR 松山駅、松山市駅まで

伊予鉄バスをご利用の場合

JR 松山駅まで：空港リムジンバス 「JR 松山駅前」 下車

松山市駅まで：空港リムジンバス 「松山市駅」 下車

JR 松山駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合

環状線 (古町方面行き) 「赤十字病院前」 下車、

北へ徒歩約2~5分

伊予鉄バスをご利用の場合

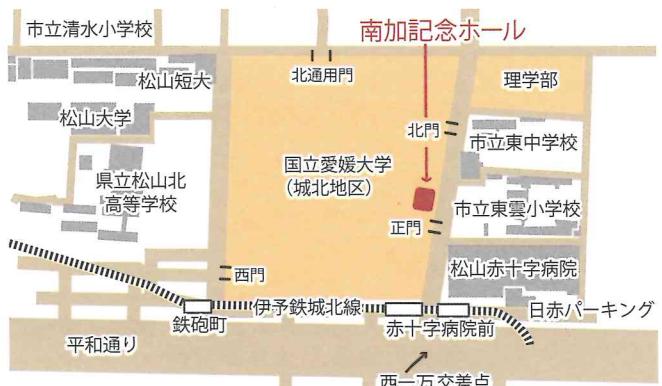
東西線 「愛媛大学前」 下車

松山市駅から

伊予鉄道市内電車をご利用の場合

環状線 (大街道方面行き) 「赤十字病院前」 下車、

北へ徒歩約2~5分



<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/>

問い合わせ先



公益社団法人 日本河川協会 「河川文化を語る会」事務局 (担当:高木、佐藤)

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階

TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp URL:<http://www.japanriver.or.jp/>

申込方法

FAX: 03-3288-2426 / E-mail: kataru@japanriver.or.jp

氏名・(勤務先)・住所・TEL・(FAX)・個人会員/一般/学生を明記の上、FAXまたはE-mailで2月24日(金)までにお申し込みください。
(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)

会員種別(いずれかに○)	日本河川協会の二種正会員(個人会員)・一般・学生		
ふりがな			
氏名			
勤務先			
職種(いずれかに○)	コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他		
住所	自宅・勤務先	〒	-
TEL	()	FAX	()
E-mail			

※ご記入された個人情報は、厳重に管理した上で、日本河川協会が主催する講演会等のご案内に利用させていただく場合がございますので、ご了承願います。